

200806 茨城県沖 M5.6 および 0809 千葉県北東部 M4.0 について

最近の関東の状況について

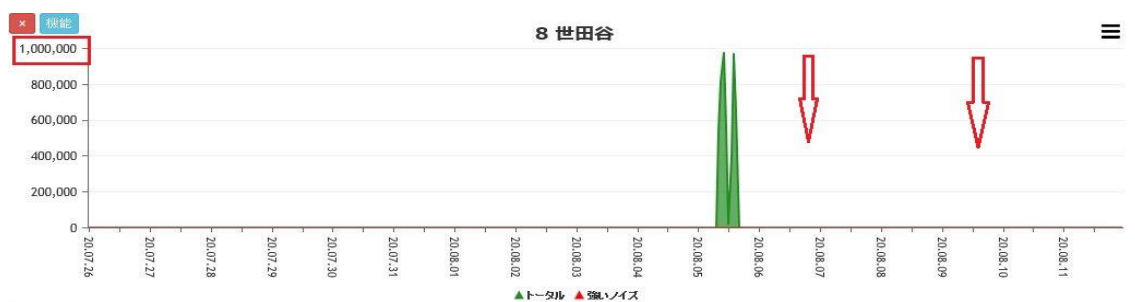
東京を初め、全国でコロナが再度拡大してきており、大変な状況になっていますが
地中深く発生する地震は地上のコロナ騒動に関係なく、着々とエネルギーを蓄積しており
いつも通りの注意をかかすことはできません。

関東では 8月6日に茨城県沖 M5.6が発生し、昨晚、8月9日に 千葉県北東部 M4.0が
発生しています。これらの地震に対応するデータですが まず8月5日に世田谷に大きな
二本の1本立ちが出ました。データの最大値は100万と大きく、その翌日8月6日の茨城
県沖 M5.6の予兆と、4日後の、8月9日千葉県北東部 M4.0の予兆とも考えられます。
しかし通常は 1本立ちの発生のおと、20日程度経ってから対応地震が発生することが多
いので いまの段階では 引き続き警戒したいと思います。

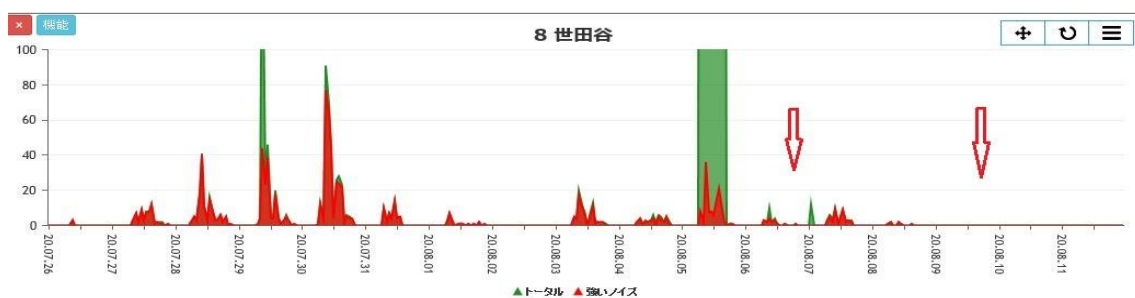
また 関東のほかのデータを見ると、データはしだいに減衰してきていますがタイミング
としてかならずしもこの2つの地震、8月6日茨城県沖 M5.6と8月9日千葉県北東部 M4.0
に対応していないようなデータもあります。世田谷だけでなく 文京、五反田、練馬、大
島、日光、狭山なども これから来る大型の地震の前兆のようにも見えます。またセンタ
ーは今日10日に小さい1本立ちが出ています。さらに甲府は約1年間つづいたデータがゆ
っくりですが徐々に収束してきています。

こうしたことを考えると 以前から予兆が出ていた、関東、中部の大地震はまだ警戒を
解くことはできないと思います。以下、各観測点のデータを載せます。

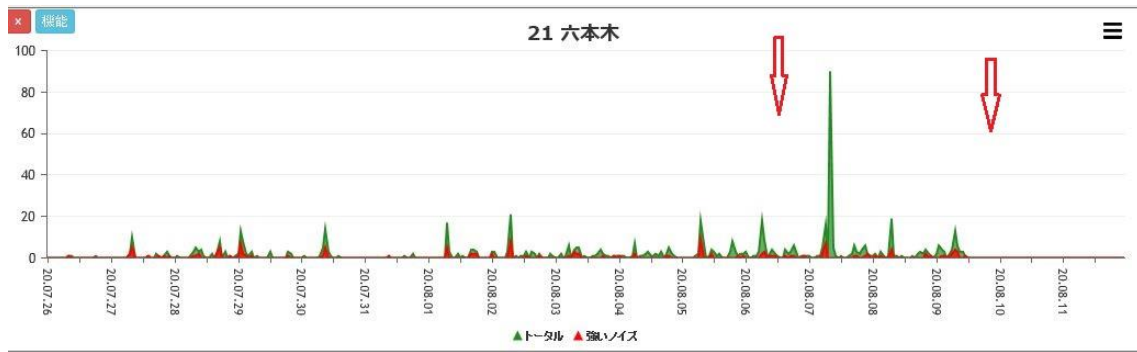
世田谷 15日データ①>



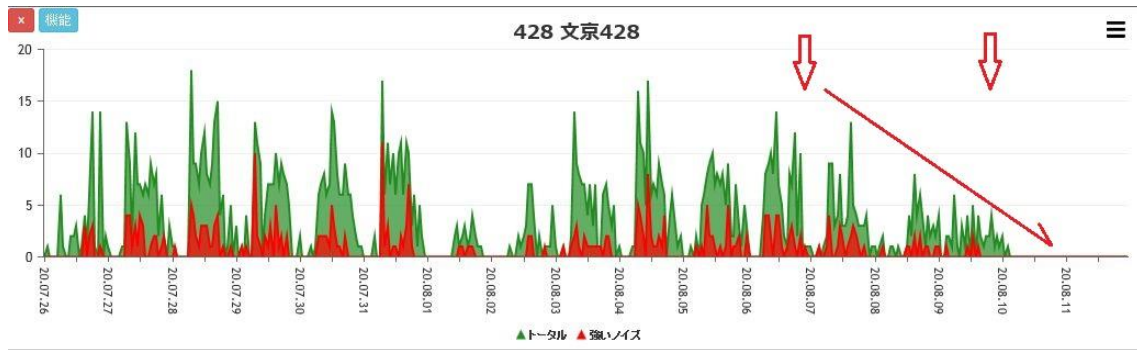
世田谷 15日データ②拡大>



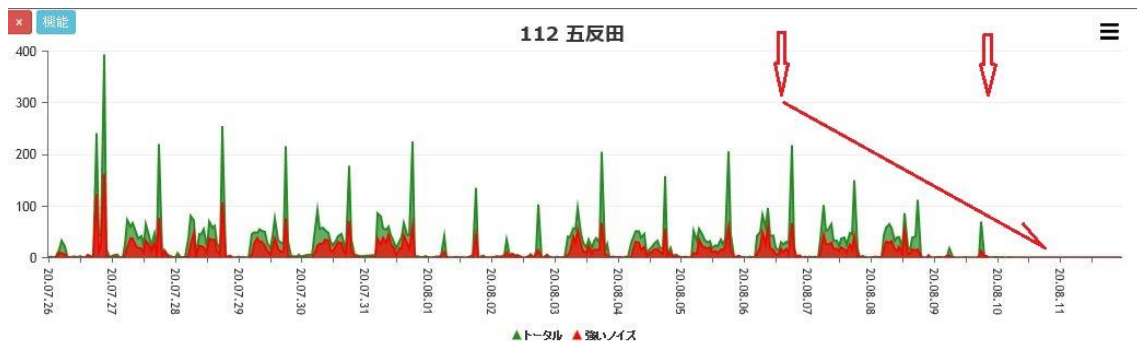
六本木 15 日データ



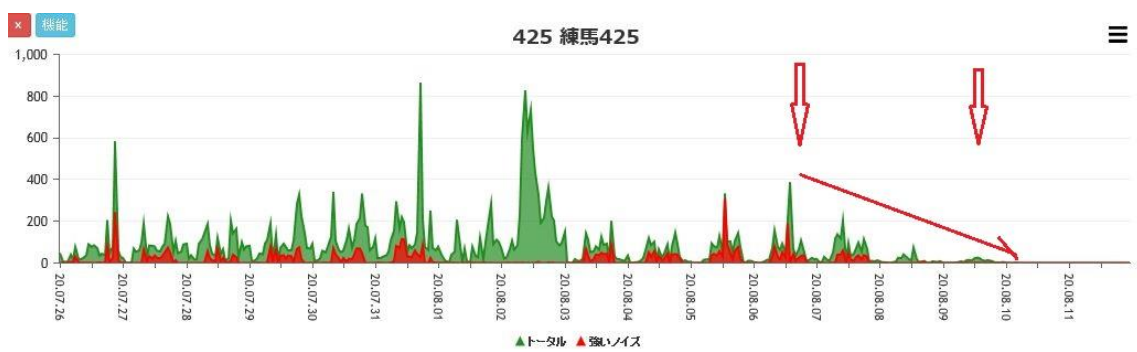
文京 15 日データ



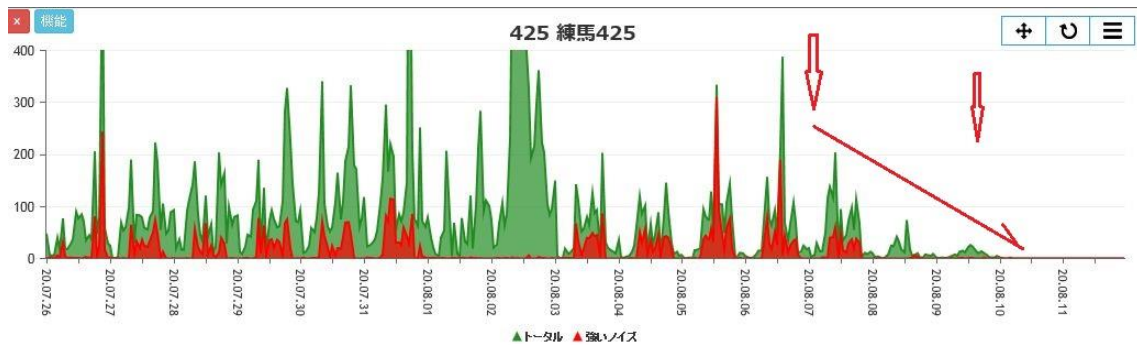
五反田 15 日データ



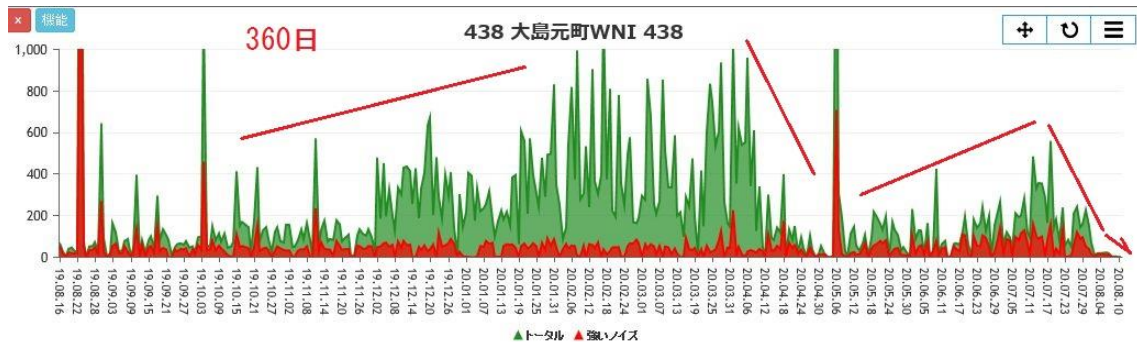
練馬 15 日データ



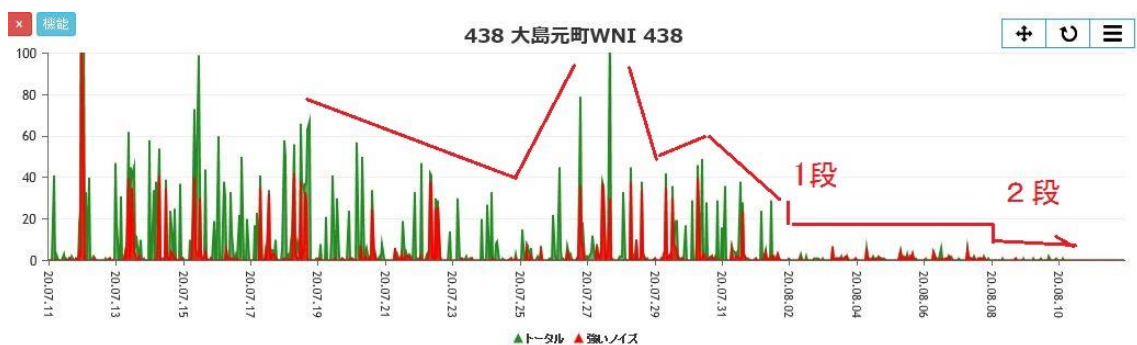
練馬 15 日データ 拡大



大島 360 データ



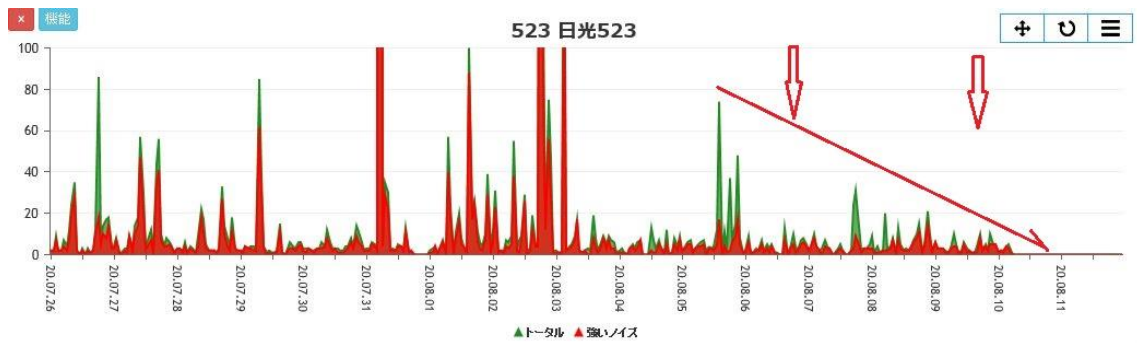
大島 30 日データ



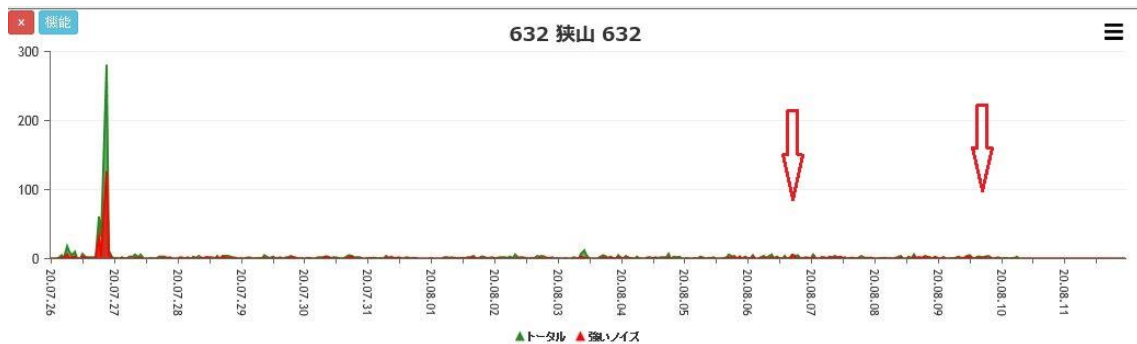
日光 15 日データ



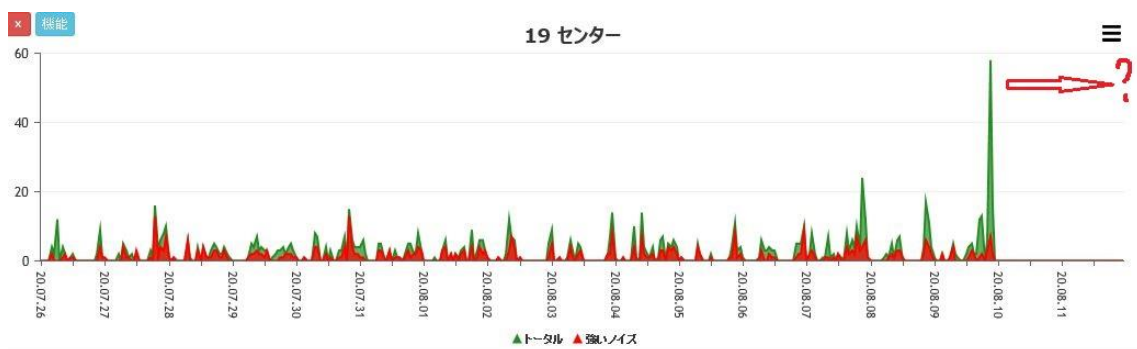
日光 15 日データ (拡大)



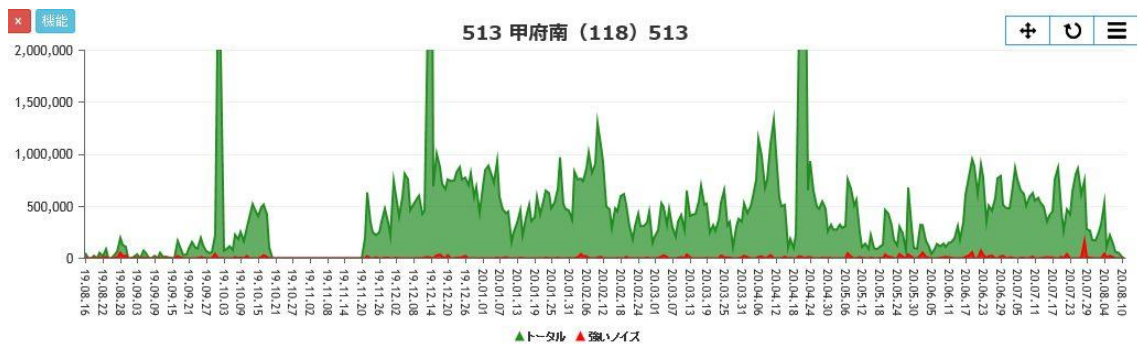
狭山 15日データ



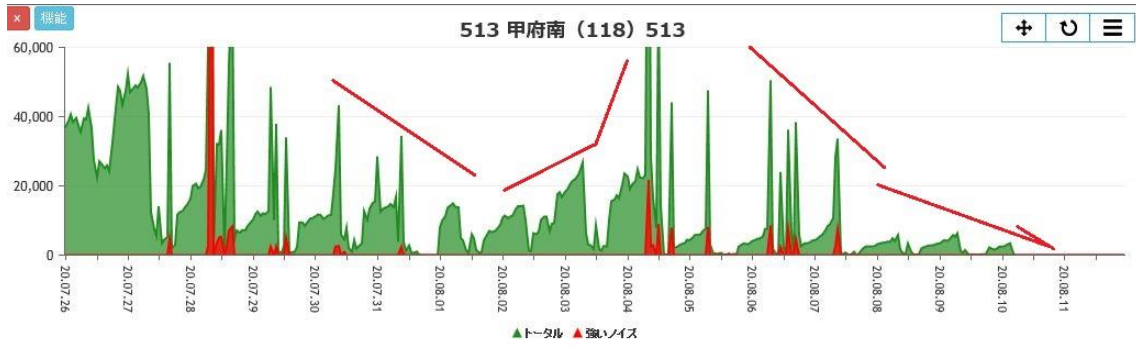
センター (世田谷) 15日データ あたらしく小さい1本立ちが出ている。



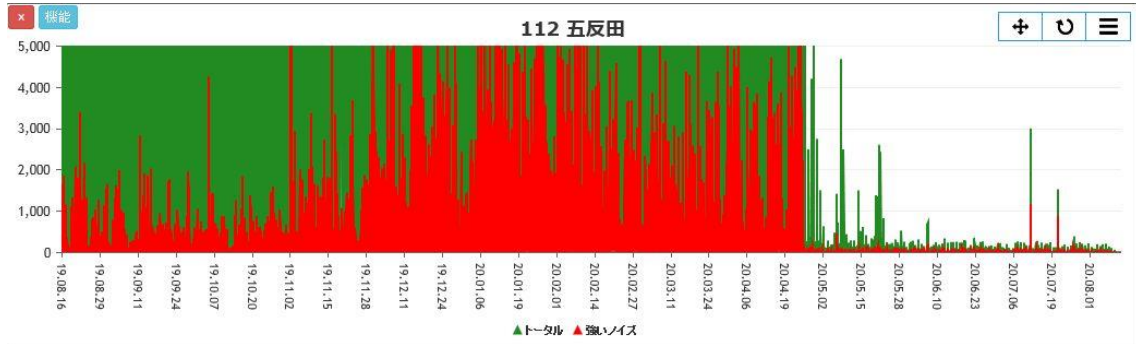
甲府 360日データ



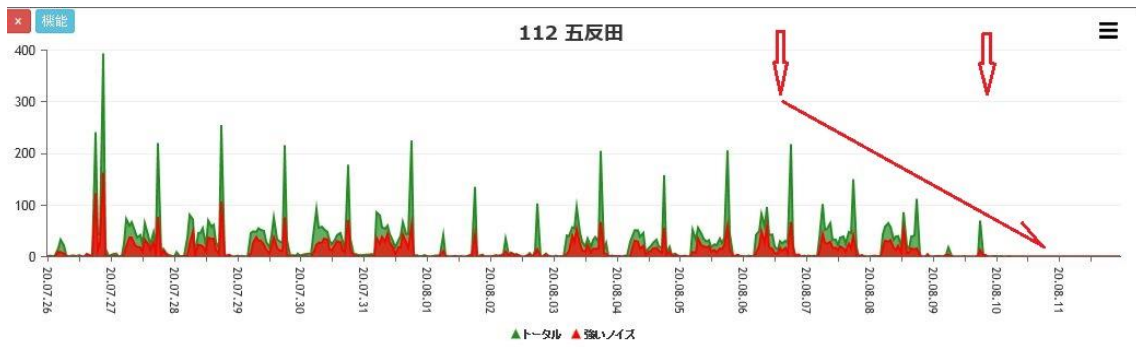
甲府 15日データ



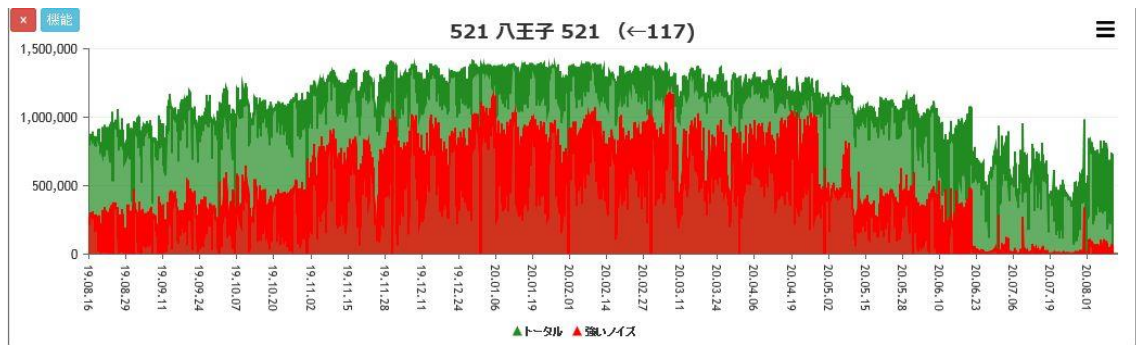
五反田 180日データ



五反田 15日データ

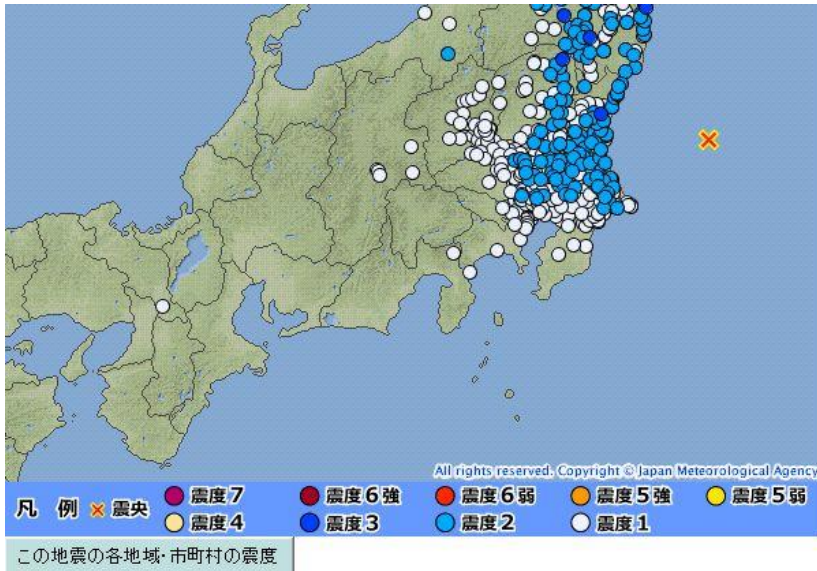


八王子 360日(日ごと)データ 収束傾向から いったんリバウンドしている



発生地震>

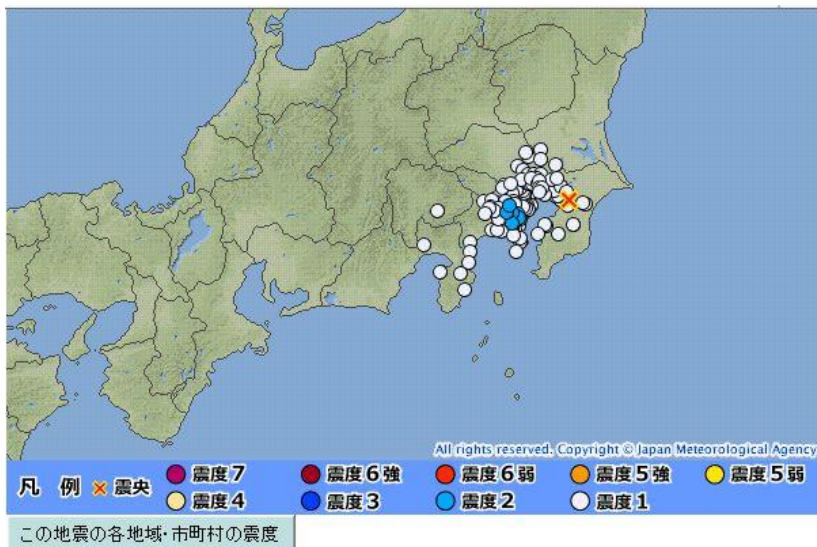
8月6日 茨城県沖 M5.6>



各地の震度に関する情報
令和 2年 8月 6日 02時59分 気象庁発表

6日02時54分ころ、地震がありました。
震源地は、茨城県沖（北緯36.3度、東経141.7度）で、震源の深さは約30km、地震の規模（マグニチュード）は5.6と推定されます。

8月9日 千葉県北東部 M4.0>



各地の震度に関する情報
令和 2年 8月 9日 21時58分 気象庁発表

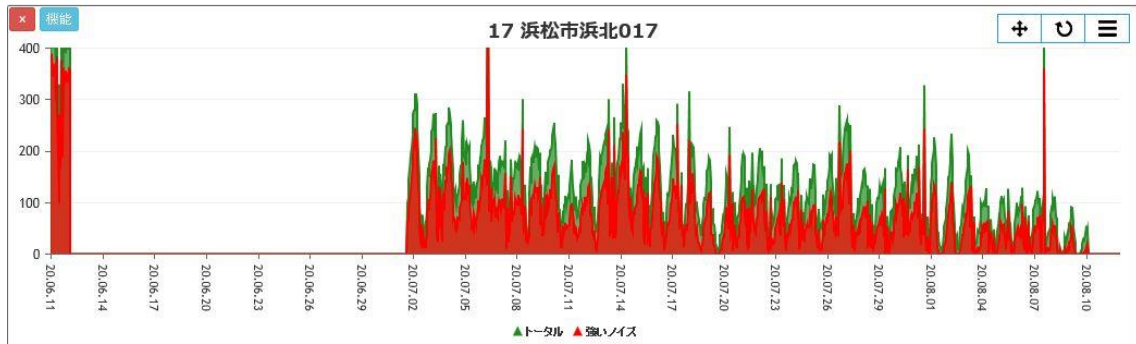
9日21時54分ころ、地震がありました。
震源地は、千葉県北西部（北緯35.6度、東経140.2度）で、震源の深さは約80km、地震の規模（マグニチュード）は4.0と推定されます。

~~~~~

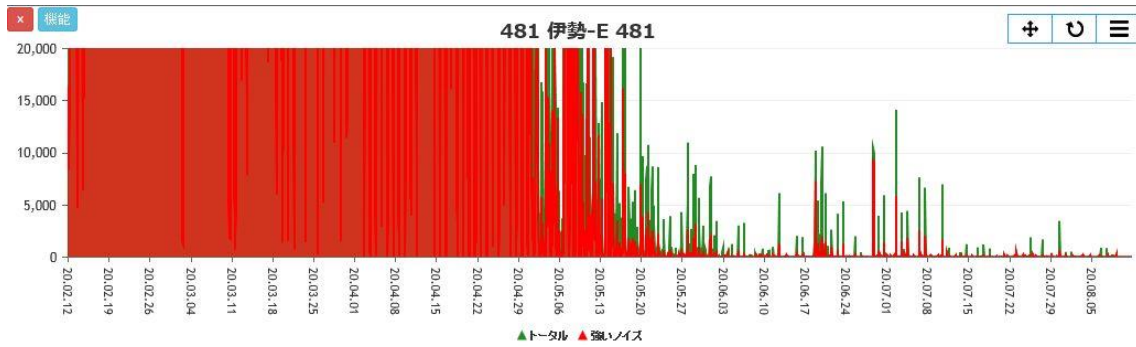
その他 長期データについて

上記、五反田、甲府の長期データの減衰のほか、浜北 017 の 60 日データの減衰、伊勢 E481 のデータの長い減衰のほか、高知市介良（けら） B449 の長期データの減衰など、関東から中部東海、四国までのいくつかのデータが長い収束に入っています。これらはいずれも大型地震につながる可能性があるので注視していきます。

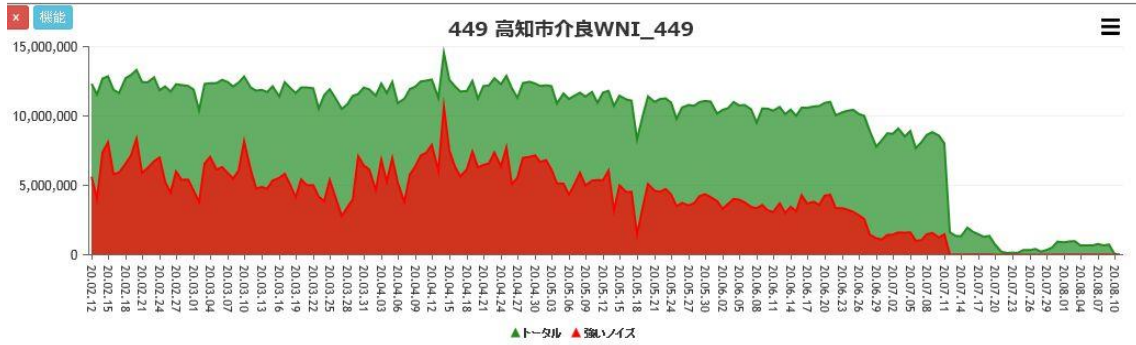
浜北 017 60日データ



伊勢 E481 180日データ



四国 高知市介良 B449 360日データ



高知市介良 B449 30日データ

